



# 陽光

令和6年5月23日 第4号 文責 梶原 圭一



## 一人一人の命を守るために！

本校の学校経営の基盤に、「学校は人の命をあずかる」と示され、これまで大切に受け継がれてきています。800人程の子どもたちが安全・安心して学校生活を送ることができるよう、全職員で共通理解を図りながら教育活動を進めています。子どもたちの命を脅かすような地震や火災、または不審者侵入等は、いつ、どこで遭遇するか分かりません。どのような場合であっても、速やかに落ち着いて行動できる子どもたちを育てることを目的に、休み時間に災害に関わる放送を行い、静かに聞き取るという「段階的地震避難訓練」を4月から行っています。また、5月14日(火)に「地震避難訓練」を行い、自分の身の守り方や避難経路、避難場所等の確認を行いました。その際の5・6年生の訓練に臨む態度は見事でした。これこそが、これまでの学習の積み重ねであると感じ、中部小の手本であると賞賛しました。地震避難訓練の際に子どもたちに話したことは、「**自分の命は自分で守る**」ということでした。前述したように、災害にいつ、どのような時に出会うか分かりません。身を守ってくれる大人が、いつもそばにいてくれるとは限りません。最後は、**自分の命を守ることを最優先に考え、自分で判断し、行動できる力**を培っていくことが何より大切だと考えています。

この考え方は、災害の時に限ったことではありません。登下校中や地域で遊んだりする時でも同様です。「横断歩道を渡る際には、左右を確認して渡る」「自転車に乗るときは、ヘルメットをしっかりと着ける」「SNSやゲーム等の使い方に注意する」ということも、自分の身を守るために必要なスキルであり、繰り返し意識を高めていくことで、自分の力をして身につけてくるものと思います。

先日、「菊陽町通学路交通安全プログラム」に基づき、県北広域本部土木部や町の危機管理防災課、菊陽町教育委員会、大津警察署の方々、そして校区の区長さんたちで、子どもたちの登校時間に合わせて、通学路の様子を見ていただきました。子どもたちの命を守るために行われている取組であり、大変ありがたく感じています。この取組の目的を子どもたちに話し、「**自分の命は自分で守る**」という気持ちをさらに高めていきたいと思っています。

**【お知らせ】** 6月7日(金)に、災害や緊急時における児童の引き渡し訓練を行います。大変お忙しい中とは思いますが、ご理解並びにご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。詳細につきましては事前にプリントを配付しておりますので、ご確認ください。

## ホームページについて

大変遅くなりましたが、本校のホームページをリニューアルいたしました。毎日300件ほど閲覧していただいているようで、大変ありがたく感じています。その日の給食や学校での出来事、必要なお知らせ等、できる限り更新していきます。安心メールと合わせて必要な情報を掲載していきたいと考えておりますので、時折見ていただければ幸いです。ホームページもよろしくお願いいたします。



「菊陽町通学路交通安全プログラム」に基づく通学路等合同点検箇所

校訓 夢を持って歩み続ける  
菊陽町立菊陽中部小学校

